

市長所信表明



令和5年3月美馬市議会定例会は2月21日に開会し、加美市長が市政の重要課題への対応について所信を表明しました。その一部を掲載します。

2月6日にトルコ南部で発生した地震では、隣国のシリアと合わせて4万3000人を超える方が犠牲になりました。お亡くなりになられた方々を悼み、被災された皆様に、お見舞いを申し上げます。

我が国におきましても、南海トラフ地震が今後30年以内に70から80%の確率で発生するとされており、市民の皆様の生命と財産を守る防災・減災の重要性を、私自身改めて認識したところです。

さて、昨年発生した職員による準公金の着服事案につきましては、再発防止策を取りまとめ、その徹底を指示するとともに、専門家を招いて職員のコンプライアンス研修を実施しました。また、私と副市長につきましても、責任の所在を明らかにするため、本定例会に給料を減額するための関係条例を提案しました。不祥事を起こさない、起こさせないために、職員一同、なお一層緊張感をもって職務に精励してまいります。

令和5年度における 市政の推進方針について

新型コロナウイルス感染症と物価高騰への対応

国は、5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを、現在の2類相当から季節性インフルエンザなどと同じ5類に引き下げると発表しました。また、来年度のワクチン接種は、国の予防接種・ワクチン分科会が、全ての人を接種対象とし、秋冬には次の接種を行うべきとの方針をまとめています。

市としては、ワクチンの接種体制をしっかりと確保するとともに感染防止対策を講じつつ、ウィズコロナからアフターコロナ、ポストコロナへの道筋を市民の皆様にお示しできるように、アンテナを高く情報の収集を行うとともに正確な情報発信に努めてまいります。

一方、昨年来の物価高騰は、

今月に入ってから様々な食料品の価格が引き上げられるなど、長期化しています。本市では、昨年の11月補正予算に、市独自の物価高騰対策予算を盛り込み、いち早く対策に取り組んでまいりましたが、物価の高止まりを受け、本年度の物価高騰対策予算のうち未執行分の一部を来年度へ繰り越し、デジタル地域通貨MIMACAを活用した対策を継続することとしています。

「人生100年時代」を迎え、市民の皆様が、美しく、健康で暮らしていただけるまちづくり

ヴォルテイスコンディショニングプログラムは、本年度の第4クールまでに、延べ990人の皆様に参加いただいております。来年度は5年間のプログラムの最終年度となりますが、令和6年度以降もコンディショニングの定着を図るた

また、穴吹認定こども園の公私連携方式への移行について1月13日に、運営事業者の候補者を選定するための選定委員会を開催しました。保護者の代表者を含む委員会での審査を経て、社会福祉法人かもめ福祉会を指定候補法人として選定し、2月15日に、同法人との間で覚書を締結しました。今後は、この覚書に基づき、令和6年4月の円滑な移行に向け、協議会の設置や合同保育の実施など、着実に準備を進めてまいります。

教育環境の充実

これまで、英語教育の充実や、ICTを活用した教育環境の整備に、県内の市町村に先駆けて取り組んでまいりました。今後も、この取組を継承、充実させるとともに、ミライズの市民ホールに、プロのアーティストを招き、子どもたちが、本物の舞台芸術に直接触れることができる機会をつくるなど、本市ならではの特色ある教育の展開に、積極的に取り組んでまいります。

また、脇町小星地区に整備中の、学校給食センターは、7月末の完

成に向け、順調に工事が進んでおり、民間のノウハウを生かした、安全・安心でおいしい給食を提供できるよう9月の供用開始に向け、しっかりと準備を進めてまいります。

中学校の部活動についても、まずは地域移行を円滑に進めるため新たに地域移行推進監や部活動統括指導者を配置することとしており、さらなる支援策を検討してまいります。

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

1月31日現在の、本市のマイナンバーカードの申請率は78.5%、交付率は71.1%であり、いずれも県内トップとなっています。マイナンバーカードの取得にご協力いただきました市民の皆様へ感謝申し上げますとともに、カードを取得された皆様に利便性を実感して頂くため、国のマイナポータル上でオンライン申請が可能な手続きを拡充してまいります。

デジタル地域通貨MIMACAは、昨年月の運用開始以降、多くの市民の皆様にご利用いただい

おり、先月1月末までの利用額は3億6614万円、チャージ額は1億963万円となっています。来年度も引き続き、普及の促進に取り組みとともに、各種検診の受診や健康イベントなどへ参加していただくことによりMIMACAのポイントを進呈するなど、活用幅を広げたいと考えています。

なお、DX推進については、本年度に引き続き、DX推進アドバイザーから、助言や支援をいただくとともに、本年度末に策定予定の美馬市DX推進計画に基づき、施策を進めてまいります。

防災・減災

大規模災害発生時に支援物資などを集積させる拠点として脇町・小星地区に整備中の施設は、6月末の完成に向け、現在、順調に工事が進んでいます。さらに、在宅避難者等に物資を供給するため、市内4か所に順次拠点の整備を進めることとしています。

また、吉野川環境整備組合が進めている汚泥再生処理施設整備事業は、設計・施工・維持・管理運営を一括で発注するDBO事業方

め、市民によるコンディショニングエキスパートを養成したいと考えており、来年度は講演会などのプレ事業に取り組むこととしています。

また、美容体験などを通じた、高齢者の皆様の外出促進をはじめ、連続講座やワークショップなどを通じたジェロントロジーの普及についても引き続き取り組んでまいります。

子育て支援の充実

出産や子育てにおける経済的な負担を軽減するため、妊娠、出産に加え、小学校と中学校の入学時に、それぞれ5万円相当のMIMACAのポイントを進呈する事業を開始するほか、これまで家庭に持ち帰っていた、使用済みの紙おむつを認定こども園等で処分するなど、きめ細かな子育て支援策にも取り組んでまいります。

式により、施設の整備・運営事業者を選定するため、昨年12月21日に選定委員会を開催し、審査の結果、クボタ環境エンジニアリング株式会社を最優秀提案者として選定、同社を施設整備運営事業者に決定しました。今後は実施設計に着手してまいります。

以上の取組に加え、大阪・関西万博によるインバウンドの回復を見据えた対策や、国指定史跡の郡里廃寺跡整備事業の推進など、本市が直面する課題の解決に正面から取り組み、本市の将来像である「美しく駆ける活躍都市美馬」の実現に向け、各施策を着実に進めてまいります。



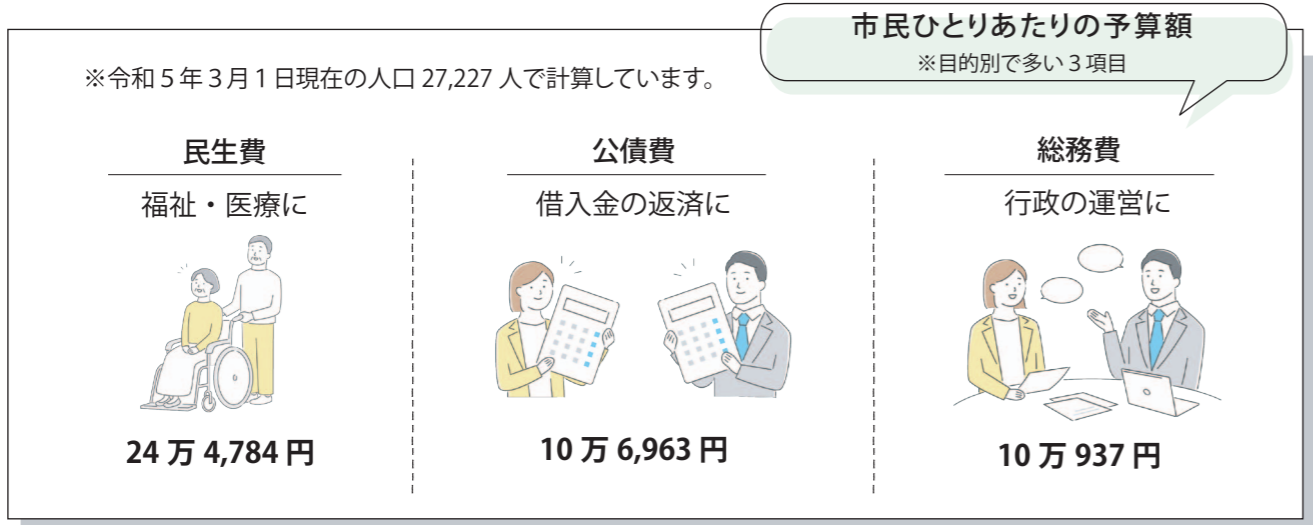
美馬市長 加美一成

令和5年度

当初予算

令和5年度の一般会計の予算規模は206億3,500万円、前年度の当初予算と比べて13億4,200万円の増加となりました。これは、学校給食センターや汚泥再生処理施設（吉野川環境整備組合）の整備事業が本格化することなどが主な要因です。

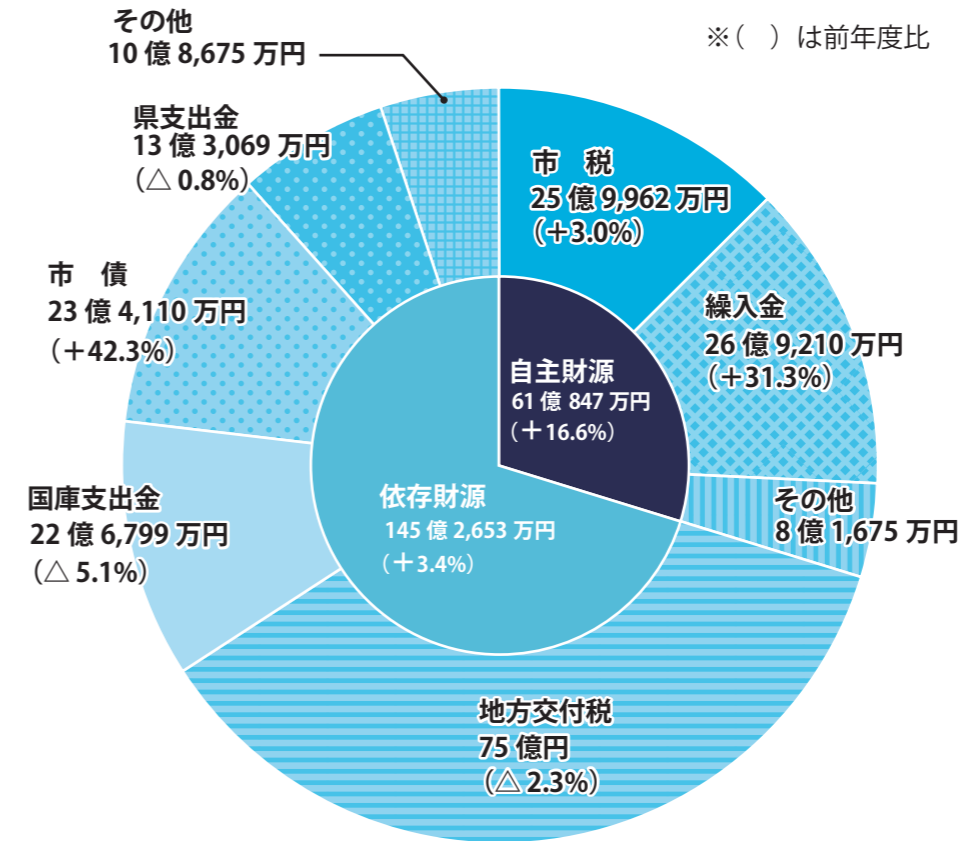
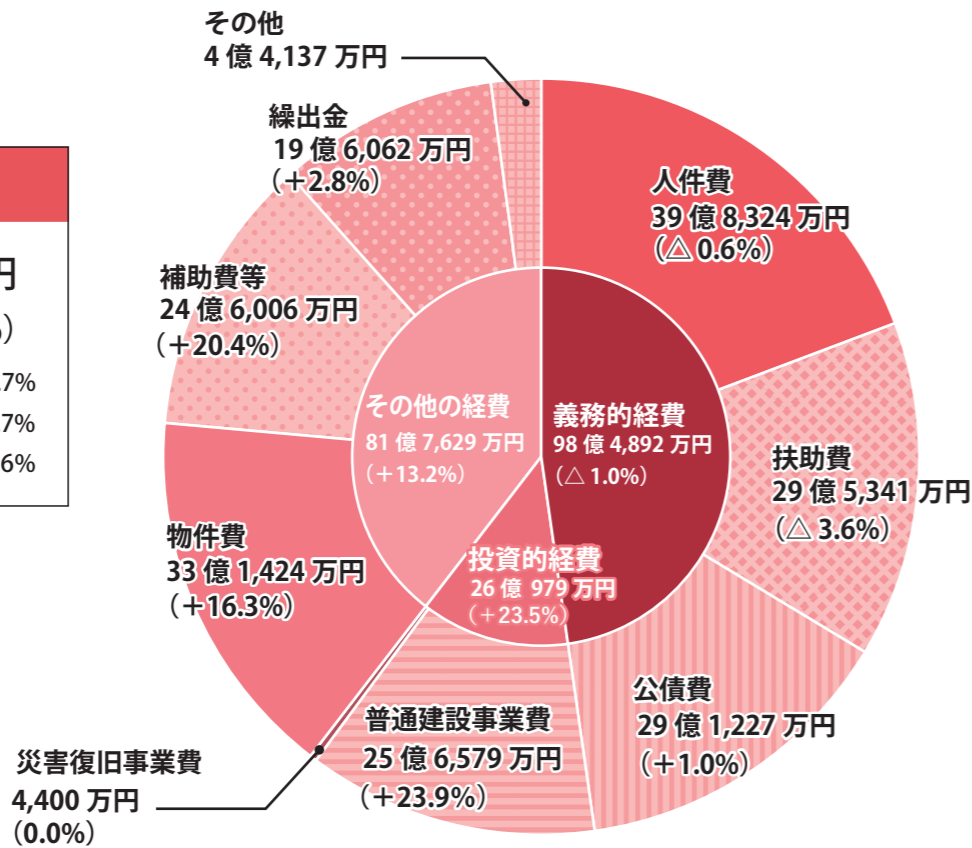
また、今年度も『人生100年時代』美と健康のまちづくりをはじめ、地域経済の好循環創出や、『未来への投資』としての子育て・教育環境の充実、インフラ整備を含めた防災・減災対策の推進など、本市が直面する課題の解決に果敢にチャレンジし、本市の将来像である「美しく駆ける活躍都市美馬」を実現するため、総合計画の「5つの基本方針」に沿って予算を編成しました。



一般会計 歳出

206億3,500万円
(前年度比+7.0%)

義務的経費 全体の47.7%
 投資的経費 全体の12.7%
 その他の経費 全体の39.6%



一般会計 歳入

206億3,500万円
(前年度比+7.0%)

自主財源 全体の29.6%
 依存財源 全体の70.4%

用語説明

- 自主財源**…市が自主的に確保できるお金
- 市税**…市民税、固定資産税、たばこ税等市民が納めた税金
- 繰入金**…各種基金を取り崩した資金
- 依存財源**…国や県から割り当てられるお金
- 地方交付税**…どの市町村でも一定の行政サービスが行えるよう、人口や税収などに応じて国から交付される資金
- 国庫支出金・県支出金**…国や県が必要と認めた事業に対して、国・県から配分される資金
- 市債**…建設事業などに充てるために借入る資金

- 義務的経費**…人件費・扶助費・公債費といった、支出が義務づけられている経費
- 扶助費**…生活保護費や、障がい者・高齢者・子どもなどへの支援に必要な経費
- 公債費**…市債の返済に充てる元金と利子
- 投資的経費**…道路整備や施設建設など、社会資本整備に必要な経費
- 物件費**…維持補修費や補助費などを除いた、消費的な性質を持った経費
- 補助費等**…他の地方公共団体や民間に対して交付される現金的給付に係る経費
- 繰出金**…特別会計の事務事業を補助するため、一般会計から特別会計に支出する経費

特別会計

特定の事業を行うために、一般会計とは別に独立して経理が行われる会計

会計	予算額	対前年度比
住宅新築資金等貸付事業(※)	0万円	△100.0
国民健康保険	事業勘定	33億8,200万円 +0.8
	直診勘定	1億159万円 △8.1
後期高齢者医療	4億9,955万円 +2.0	
介護保険	保険事業勘定	37億8,721万円 +2.1
	サービス事業勘定	6,378万円 △1.6
一の森ヒュッテ事業	481万円 △0.2	
小水力発電事業	2,442万円 +108.8	
計	78億6,336万円	+1.5

(※) 令和4年度末で特別会計を廃止し、一般会計へ統合します。

企業会計

地方公営企業法の適用を受け、その事業収入により経営される会計

会計	予算額	対前年度比
下水道事業	5億1,817万円	△2.7
水道事業	11億1,925万円	△1.2
工業用水道事業	1億1,139万円	+1.4
簡易水道事業	7,542万円	+3.5
計	18億2,423万円	△1.3

企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計です。

令和5年度当初予算 主な事業



予算の特徴

ヴォルティスコンディショニングプログラムをはじめ、「人生100年時代」に、市民の皆様が美しく健康で暮らしていただくための各種施策に引き続き取り組むとともに、出産や子育てにおける経済的な負担を軽減するため、妊娠、出産、小・中学校への入学という節目にそれぞれ5万円相当のデジタル地域通貨MIMACAのポイントを付与することとしています。

また、使用済み紙おむつの認定こども園での処分や、中学校部活動の地域移行に向けた体制の整備など、子育てや教育環境の充実にも取り組みます。

昨年10月から運用を開始したデジタル地域通貨MIMACAは、新たな決済手段として多くの市民の皆様にご利用いただいておりますが、引き続きMIMACAの普及に取り組むとともに、高い交付率を背景としたマイナンバーカードの利用手続き拡大など、DXの推進にも取り組みます。

厳しい財政状況ではありますが、災害時における物資の集積、供給拠点の整備・運用や、インバウンドの回復を見据えた対策など、直面する課題に正面から取り組み、それぞれの施策を着実に進めます。

1. 未来へつなげる！市民の誰もが思いを実現し、健康で活躍できるまちづくり

「人生100年時代」美と健康のまちづくりプロジェクト事業 1,471万円

「人生100年時代」を迎え、「美」と「健康」をキーワードに、健康寿命の延伸や、高齢者の社会参加の促進を通じて、すべての市民が美しく健康で暮らすことのできるまちづくりを進めます。

入学祝いポイント事業 2,009万円

子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、保護者に対し入学祝いとして、小学校入学時と中学校入学時にそれぞれ、児童一人あたり5万円相当のデジタル地域通貨MIMACAのポイントを付与します。

認定こども園等使用済み紙おむつ処分事業 229万円

衛生上のリスク低減と保護者負担の軽減を図るため、使用済み紙おむつを認定こども園等で処分するために必要な備品等を整備します。

中学校部活動地域移行支援事業 662万円

生徒がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、部活動の地域移行に取り組む体制を構築し、持続可能で多様な活動環境の整備を進めます。

学校給食センター整備・開設準備・運営等事業 12億853万円

老朽化している市内4つの学校給食センターを一元化し、統一献立によるおいしい給食を実現するため、施設整備計画に基づき、DBO事業方式による学校給食センターの整備を行います。

また、令和5年9月からの稼働に向け、開設準備や稼働後の管理運営を適切に行い、安全・安心でおいしい給食を提供します。



▲学校給食センター(イメージ)

2. 元気な美馬！賑わいがあり「ひと」と「しごと」が好循環するまちづくり

美馬アグリワーケーション施設活用事業 477万円

脇町小星地区の「移住交流促進拠点」に整備した、IoTを活用した水耕栽培機器とワークルームを備えた「美馬アグリワーケーション施設」を活用し、スマート農業の体験や普及促進、ワーケーションを通じた交流人口の増加や地域活性化につなげます。



▲美馬アグリワーケーション施設

デジタル地域通貨運営管理事業 1,436万円

デジタル地域通貨MIMACAについて、ポイントのチャージや精算等に係る費用を引き続き市が負担し、市民の新たな決済手段としての定着を図ります。
(※令和4年度からの繰越予算を活用し、MIMACAを利用した決済時に、決済額の3%分のポイントを付与します。)

3. 未来の暮らしを守る！安全・安心、快適な環境で便利に生活できるまちづくり

地区物資供給拠点整備事業 501万円

在宅避難者などを対象とした物資供給体制を構築するため、令和5年度から令和8年度にかけ、市内4か所(美馬、脇町、穴吹、木屋平)に地区物資供給拠点を開設し、必要な備品を順次整備します。

令和5年度は美馬地区にエアータント、LED投光器、発電機、倉庫を整備します。

消防団災害対応力向上デジタル化事業 233万円

災害時の情報伝達と事務処理をデジタル化することで、消防団員の災害対応力の強化と事務の効率化を図るため、消防団支援アプリを導入します。

老朽危険空き家除却支援事業 2,527万円

管理不全の老朽危険空き家の所有者に対し、解体費用の一部を助成します。これまで道路を閉塞するおそれのある空き家のみ助成の対象としていましたが、令和5年度から、道路閉塞のおそれがない場合でも、隣地に影響を及ぼすおそれがある場合は助成の対象とします。

4. 好きです美馬！市民が地域に愛着と誇りを持てるまちづくり

国指定史跡郡里廃寺跡整備事業 9,721万円

保存活用計画・基本計画に基づき、引き続き実施設計を行うとともに、史跡整備工事に着手します。

令和5年度は敷地造成、支障物の移転・撤去や給水施設工事等を実施します。



▲郡里廃寺跡整備後イメージ

5. 未来のために！市民と行政がともに進める持続可能なまちづくり

総合計画・後期基本計画策定事業 309万円

第3次美馬市総合計画・前期基本計画の計画期間が令和6年度で終了することから、後期基本計画(計画期間:令和7年度~令和11年度)の策定に向けたアンケート調査を実施します。

経済部 北館4階 ●部長：藤田 伸次、◎住友 啓五

農林課 ☎52-5609	農業振興、土地改良事業、畜産振興、生活改善、林業振興、鳥獣保護等						
	○山川一美	佐藤 靖子	山口 俊尚	切上 明彦	佐藤 桃子	木下 宏也	佐古 敏之
	長岡 裕己	細川 知世	谷口 友紀	(新)富士本 雅弥			
企業応援課 ☎52-1263	商工業振興、労働行政、企業立地推進、創業支援等、サテライトオフィス、デジタル地域通貨MIMACA等						
	○林 暁美	藤澤 浩二	吉田 智彦	小島 一真	(新)大西 千尋		
観光交流課 ☎52-5610	観光振興、観光施設管理、観光イベント、近畿ふるさと会、徳島ヴォルティスホームタウン等						
	○二宮 正経	山口 明大	(副)大森 秀樹	金見 翔太	増居 裕矢		

建設部 北館4階 ●部長：藤重 久

都市政策課 ☎52-5607	宅地開発指導、都市計画、道路河川占用、地籍調査、老朽危険空き家対策等						
	○尾形 克人	原田 佳明	寄鍵 裕	西岡 聡	(副)前田 仁	藤田 剛史	朝倉 康平
	(新)藤井 峻						
建設課 ☎52-5608	道路、橋梁、排水路、交通安全施設および防犯灯の新設・維持管理、農道・林道整備等						
	○前山 一宏	重長 寿昭	櫻地 貴洋	石田 貴志	山本 雄一郎	(副)小野 洋介	野崎 将平
	美馬 宏成	土井 淳嗣	幸平 健佑				
住宅・拠点整備課 ☎52-5612	市営住宅管理、住宅耐震化対策、住宅リフォーム等						
	○藤田 慎二	北岡 広一	(副)前川 正弘	藤本 直亨			

会計課 北館2階

☎52-8003	公金の出納および保管、決算調製等						
	○高尾 寿美	中村 佳代子	原田 慶子	塩田 友香			

議会事務局 南館4階 ●事務局長：篠原 孝志

☎52-8004	○大島 康作	村上 富美	緒方 寛和				
----------	--------	-------	-------	--	--	--	--

監査委員事務局 南館3階

☎52-8007	◎藤本 仁司	巽 康輔					
----------	--------	------	--	--	--	--	--

農業委員会事務局 北館4階

☎52-8030	○中津 圭二	大久保 政博	小島 靖彦				
----------	--------	--------	-------	--	--	--	--

教育委員会 南館3階 ●副教育長：園木 一昌、◎教育指導監：長江 徹子

教育総務課 ☎52-8010	教育行政の企画調整、教職員の人事管理、学校給食等						
	○小倉 進	花岡 正昭	新開 利恵	井手 和輝	(副)藤村 孝志	佐々木 彩	篠原 唯史
	高橋 深生						
地域学習推進課 ☎52-8011	社会教育、文化財保護、スポーツ振興等						
	○近藤 敦	増井 良和	西岡 健二郎	井口 ひろ	櫻間 光雄	拝郷 哲也	(副)藤田 英雄
	中川 新						

特別職

市長	加美 一成
副市長	岡 建樹
教育長	村岡 直美

美馬市職員配置表

(令和5年4月1日現在)

●部長級(理事) ◎次長 ○課長・所長・園長 (再)再任用 (新)新規採用

企画総務部 北館3階 ●部長：吉田 正孝

総務課 ☎52-1212	国際交流、情報公開、入札、契約、財産管理等						
	○吉本 宏紀	柳井 百里	片山 高広	保手 誠	前田 哲也	(再)大泉 勝嗣	井形 駿介
	田上 達也	(新)胡 和徳					
秘書人事課 ☎52-8006	秘書、人事、給与、姉妹・友好都市、行政相談、広聴等						
	◎渡邊 晴樹	富永 智	藤内 敦美	鍛冶谷 太一	安永 智美	上家 悠莉菜	(新)岸 千夏
	谷西 健司	鈴木 明良					
企画財政課 ☎52-8008	総合計画、統計、予算編成、財政計画および調整等						
	○佐藤 優行	濱原 友和	西木 照記	西岡 佑子	西岡 朋美	東條 凌河	
税務課 ☎52-5602 ☎52-5603 北館2階	市民税、国民健康保険税、固定資産税、軽自動車税等						
	○内藤 紀彦	金原 永茂	前田 年彦	藤本 真人	中妻 可南	(再)近藤 悦子	枝澤 昂平
	長江 明	井原 啓貴	野平 美樹	佐川 翼郎	栗本 玲菜	三橋 樹	(新)井上 佳枝
	(新)垂水 柚奈						
危機管理課 ☎52-1677	防災計画、国民保護計画、自主防災組織育成、災害対策本部等						
	○松浦 英之	○中山 博之	安達 貴志	石井 祐史	梶谷 勇斗	片岡 元気	
デジタルトランスフォーメーション推進課 ☎52-1717	地域情報ネットワーク、電算システム、音声告知放送、広報等						
	○荒岡 克司	新田 浩人	前野 志歩	三好 俊助	(新)堀江 孝希		
美と健康のまち推進課 ☎52-5730 地域共生交流施設小星ベース	人生100年時代、美と健康のまちづくり事業、小星ベースの施設管理等						
	○大島 直子	熊野 龍司	川原 千尋	中川 環			

※1選挙管理委員会事務局長併任 ※2選挙管理委員会書記併任

保険福祉部 南館2階 ●部長兼福祉事務所長：住友 礼子、◎任期付短時間勤務職員：西野 佳久

保険健康課 ☎52-5601 ☎52-5611	国民健康保険、老人保健、後期高齢者医療、国民年金、健康診査、母子相談、予防接種等						
	◎藤本 貴子	飯田 久美子	井奥 福之	秦 靖彦	藤井 美恵	花岡 三子	藤重 りさ
	原田 めぐみ	長江 美紀	和泉 純子	松浦 あゆみ	大塚 優子	西村 三千代	逢坂 香奈
	大森 愛理	大江 未生	三原 梓	磯村 美樹	上田 仁日香	後藤 綾斗	(新)三宅 由佳理
木屋平診療所 ☎68-2541	●藤原 真治 東埜 英一 川口 あけみ (副)佐古キヨ子						
生活福祉課 ☎52-5604	民生委員児童委員、保護司会、災害救助、生活保護等						
	◎見立 貞治	宮内 聡美	松家 裕之	井口 明典	喜多 賢治	川田 静江	大西 啓治
	近藤 美帆	(副)篠原 一夫	木下 剛暢	南 貴博			
長寿・障がい福祉課 ☎52-5605☎52-5614 包括支援センター ☎52-5613☎52-5615	高齢者福祉、介護保険、在宅介護支援センター、障がい福祉、重度心身障がい者医療等						
	○和田 啓明	前田 実知代	竹田 光司	宇山 修介	逢坂 和憲	友信 博美	逢坂 陽光
	菅原 徳枝	(副)藤川 喜代子	新居 一真	山田 智紀	石川 真帆	川原 彩華	(新)仁木のどか
子どもすこやか課 ☎52-5606	児童福祉、子育て支援、児童手当、みまこ医療等						
	○原 健二	荒岡 智子	藤原 由美子	青山 憲司	(副)塩田 陽子	中島 優那	小野寺 いづみ
	漆原 早月	(新)逢坂 佳那子					

認定こども園・保育所・幼稚園

江原認定こども園 ☎53-3070	○三宅 幸代	河野 照栄	藤川 和代	杉山 真理	藤田 あゆみ	柴田 沙織	西浦 奈未可
	大池 春菜	笠井 まき	前田 さくら	西岡 奈々	奥村 沙紀	田村 麻衣	垂水 玲己
	古谷 萌菜美	坂本 楓佳	金澤 晴渚	(新)吉川 海月			
脇町保育所 ☎52-1492	◎大野 昭史	篠原 千晴	花岡 美由紀	佐川 多恵	正木 順子	澤口 達子	井上 優
	藤本 寛子	田邊 結衣	笠井 砂織	河野 舞	近藤 静香	北岡 あゆみ	多田 千穂
	大橋 裕子	宮武 ひかる	真鍋 吏沙	渡瀬 恭子			
岩倉認定こども園 ☎53-5533	○藤田 尚美	西岡 あすか	尾形 利江	井村 志津恵	大西 有紀	大上 小百合	藤浦 有香
	藤本 あづさ	松井 柚依					
美馬認定こども園 ☎63-3030	○山口 慶子	井口 静代	小川 綾子	長瀬 祥子	佐藤 恵子	高井 徳子	平田 淳子
	尾形 みほ	正木 真弓	松下 千尋	三好 里枝	國見 京加	見定 枝莉	田邊 梨花
	田岡 真菜	前田 桃香	財田 倅歩				
穴吹認定こども園 ☎53-1300	○緒方 健三	南後 きみ子	佐古 こずえ	廣岡 かずみ	三好 睦実	川原 梓	篠原 朱美
	武田 美奈子	久米川 朝美	藤原 舞子	川西 由紀	竹岡 陽香	長江 真依	圓藤 彩菜
	真鍋 知紘	谷口 志帆	浮津 真生	佐藤 実樹子	堀 香織		
脇町幼稚園☎52-0086	○蔭山 苗美	田所 真理	石川 佳代子	福見 みのり	丹羽 香菜	空山 里奈	
木屋平幼稚園☎68-3733	鎌田 恵美子						

給食センター・調理場

穴吹学校給食センター ☎52-1539	○伊藤 裕章	須藤 ふみ子	大谷 貴宏
	(再)藤島 美代子	(再)田岡 公裕	
脇町共同調理場	小泉 七重	柿窪 恵美子	大村 香織
江原南共同調理場	田邊 弘	天田 比呂子	金泉 尚子
岩倉共同調理場	平岡 美都保	藤本 美由紀	

出向・派遣

西阿老人ホーム組合☎52-1445	○南 佳幸	
吉野川環境整備組合☎52-2388	●大森 晃	逢坂 肇
美馬地区広域行政組合☎55-2501	田所 勉	
徳島県後期高齢者医療広域連合	武田 和也	
徳島県庁	武田 晴奈	
(一社)そらの郷	板東 章浩	
徳島県消防防災航空隊	奥村 隼	

令和4年度退職者

3月31日付で次の皆さんが退職されました。
(順不同、敬称略)

氏名	退職時職名
河野 功	建設部 部長
西野 佳久	水道部 部長
佐古 真澄	建設部 次長(建設課長事務取扱)
新居 裕康	水道部 次長(工務課長事務取扱)
近藤 悦子	税務課 課長
田村 寿代	美馬認定こども園 園長
鉄野 美幸	脇町幼稚園 園長
佐古 キヨ子	木屋平診療所 看護師長
南 明美	穴吹認定こども園 園長補佐
三宅 陽子	脇町保育所 総括調理員
田岡 公裕	穴吹学校給食センター 総括調理員
宮成 由紀	穴吹認定こども園 主任保育教諭
瀧口 涉	総務課 主事
藤重 芽里	観光交流課 主事

市民環境部 北館2階

●部長：伊内 公一

市民課 ☎52-8001	住民基本台帳、印鑑登録、戸籍、外国人登録、マイナンバーカード等						
	○中川 栄治	浅野 ゆかり	西村 裕則	中田 久美	藤島 真希	(再)伊東利枝子	鈴木理恵子
	安西 裕也	松井 裕貴実	宮内 杏唯	(新)上田 絵梨奈			
脇町市民サービスセンター☎52-5600	○関 和也	福永 美穂	宮武 紫織				
美馬町市民サービスセンター☎63-3111	○逢坂 雅史	鴻池 正彦	三好 明美	小山 康菜	清水 真也		
木屋平市民サービスセンター☎68-2111	◎大岡 信隆	小原 浩幸	高橋 真治	棚上 和子	奥森 三紀		
くらし・人権課 ☎52-8009	地域活性化、自治会連絡調整、デマンドバス、人権啓発、男女共同参画、消費者行政、交通・防犯等						
	○仲 正敏	西岡 美和	中津 百恵	前田 龍昌	藤本 晋一郎	(新)林 愛哉	
美馬文化会館☎63-4646	長江 浩司	(再)逢坂 順司					
三島会館☎53-6124	大塚 敏宏	山下 隆義	(再)脇 誠治				
環境下水道課 ☎52-8020	ごみ、飼い犬に関すること、公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽等						
	○藤澤 正道	武内 貴之	緒方 豪人	(再)中川 貴志	櫻間 健太郎	前田 一樹	小島 里菜
ふるさと回帰推進課 ☎52-8129	ふるさと納税、地域交流センターミライズの施設管理、移住・定住関係等						
	◎西岡 英樹	宮田 莉沙	柏岡 秀也				

水道部

水道庁舎

●部長：藤本 卓志

水道課 ☎63-2236	水道事業に係る財産管理、水道施設の維持管理等						
	◎戸島 博己	金崎 博之	中山 周治	乾 裕宣	宮浦 瑞恵	蔭山 貴基	(再)上田 孝
	(再)新居 裕康	宮武 航平	宮田 峻	薦 佑亮	真鍋 勇貴		

消防本部

●消防長：根本 賢一

総務課 ☎52-3061	◎金崎 満男	吉村 仁志	田中 雄太	逢坂 真人	葛籠 寛人	逢坂 一至	緒方 潤
	藤川 修平	坂本 光希	金崎 柊人				
予防課	○知野 昌寿	大谷 直哉	佐藤 輝謙	工藤 正人	真鍋 優	大館 直樹	北岡 拓也
	緒方 亮介	佐竹 真	藤田 悠輔	中山 将仁	石川 祐人		
警防課	◎喜多 孝治	石川 英樹	棚上 寿和	戸田 勇作	片岡 孝樹	中妻 秀仁	藤川 侑己
	谷本 慎二	熊澤 大輔	尾方 賢一	田邊 慶太	北岡 和人	熊井 誠	武岡 拓海
救急救助課	○西川 猛司	近藤 寛	西村 正照	奈良井 光宏	田邊 諒	長谷 昌典	塩田 孝輔
	畑中 昌典	柿原 克哉	真鍋 克志	長谷 仁嗣	藤村 将嗣	榎丸 雅望	佐藤 弘都
通信指令課	○谷 和夫	三宅 純也	松本 大輔	藤林 良樹	南後 尚幸	丸山 賢悟	國見 建太
	中川 達朗	小笠 真	高田 英幸				